

## (事業報告書様式1)

## 年度利用料金収入実績

日時	内容	内訳	利用料金収入合計
3月21日	平成30年度 分区園利用料金	12㎡(4,800円)×32区画 25㎡(10,000円)×3区画	183,600円
3月31日	〃	12㎡(4,800円)×3区画	14,400円
4月10日	〃	12㎡(4,800円)×1区画	4,800円
4月16日	〃	〃	〃
5月8日	〃	〃	〃
		利用料金収入合計	212,400円

## (事業報告書様式2)(事業報告書様式3)

年度公園施設及び有料施設利用回数・稼働率(月別)、年度公園利用状況 ※共に該当なし

## (事業報告書様式4)

## 業務の第三者委託実績

業務	内容	再委託会社 及び金額	年回数	実施月日	対応状況
植栽管理	斜面地の草刈	(有)和泉園	3回	4月26日、6月 29日、9月25日	
清掃工	建物及び園内の 清掃	特定非営利法人 い ずみ福祉会 あいあ い緑園	週3日(年 末年始除 く)	4~3月 延べ153日	巡回含む
電気設備点検	株平岡電機工事	園内灯設備保守点検	1回	12月18日	
コールセン ター	京浜警備保障(株)	夜間、年末年始、緊 急時等対応	通年	10月25日 夜間巡回実施	
清掃工	金沢臨海サービ ス(株)	建物及び園内の清掃	年末年始	12月30日、1月 1日・3日	巡回含む

## (事業報告書様式5)

## 年度修繕実績

修繕年月日	修繕箇所	金額	委託業者名また は直営かの記載	対応状況
5月27日	下段エリア ジョウロかけ	2,800円	直営	フック欠落のため再取付を実施した。
2月7日	梅林の舗装 (真砂土舗 装)	55,000円	直営	破損箇所の除去・転圧・舗装敷均し・灌水・養生を実施した
2月7日	梅林の階段ス テップ	35,000円	直営	木チップ流出のため補充・転圧を行い、段差を解消した

2月21日	下段エリア スツール (3脚)	4,300円	直営	劣化した蛍光テープについて、貼り直しを実施した。
2月21日	中段エリア 縁石補修	22,000円	直営	欠けた縁石の補修を実施した。
3月28日	スロープ沿い 円形土留め	48,000円	直営	円形土留めが破れ崩壊している箇所を縫い合わせ補修した。
	修繕実績計	167,100円		

(事業報告書様式6)

## 年度増減備品一覧

品名及び形状・その他	単価 (円)	購入		廃棄		増減 数	増減理由
		数量	月日	数量	月日		
管理車両用社名マグネット	1,512	1	5/25	—	—	1	
ベスト(障がい者支援施設清掃メンバーの皆様用)	2,646	8	5/25	—	—	8	
ジョーロ	1,074	1	5/30	1	5/31	0	破損(水漏れ)のため交換
	1,000	1	7/20	1	5/24	0	
人感センサーライト (ソーラー式、取付金具共)	7,106	1	8/7	—	—	0	利用者からの要望のため
道具類(剪定鋸、剪定鋏、草刈鎌、鋏サック、ベルト、防護メガネ、ヘルメット)	16,139	各1	1/20	—	—	各1	新人採用のため増
制服(キャップ・防寒コート、社名刺繍入り)	6,889	各1	1/23	—	—	1	〃
制服(長袖ブルゾン)	5,788	3	1/23	1	1/31	2	新人採用のため増 既存スタッフ着用着交換のため廃棄
制服(長袖ポロシャツ・ストレッチパンツ)	5,842	4	1/23	2	1/31	2	〃
鍵(掲示板・倉庫・トイレ、管理者用)	3,888	各1	1/23			各1	新人採用のため増
デジタルカメラ(ニコン)	14,162	1	2/28	1	2/28	0	既存カメラ故障のため

鍵(倉庫・ロッカー、利用者用)	43,740	各41	2/28	—	—	各41	
-----------------	--------	-----	------	---	---	-----	--

(事業報告書様式7)

苦情対応報告

	年月日	内容及び苦情者	対応結果
1	7月11日・14日	下段エリアの分区園利用者より、夜間に、区画内へのゴミ(ペットボトル、タバコ)の投げ捨て・畑の踏み荒しが発生しているとの報告があった。利用者は、公園が見える向かいのマンションに住んでおり、夜間、若者が下段エリアにたむろしているのを確認している。「夏休みに入ると、悪化する可能性もあるため、対策を御願いたい」との要望があった。	<p>下記①～②の対策を実施した。</p> <p>① 報告をうけた日に、警察に相談し、既に行なっていた夜間パトロールを強化した。</p> <p>② 7月12日、抑止力向上のため、園内の掲示物(指導看板)の設置場所・内容を検討し強化した。被害が報告された下段エリアの目立つ箇所に大きく指導看板を設置した。また、万が一目撃した際は110番通報するように、地域住民・利用者へ協力を仰いだ。</p> <p>さらに、7月14日の報告を受けて、対策を再度検討し、下記③～⑤により対応を講じた。</p> <p>③ 報告をうけた当日に、警察に報告。夜間、23～24時にたむろをすることが多いとの目撃情報を得られたため、その時間帯を要注意時間としてパトロールすることとした。→ 7月28日夜間、指導を実施。</p> <p>④ 7月31日、防犯機能付自動販売機を設置。夜間、赤いランプが点滅し、抑止力向上につながる。</p> <p>⑤ 8月9日、夜間、暗がりになることも原因のひとつと思われるため、人感センサー付ライトを設置し抑止力強化をはかった。</p> <p>なお、7月28日に指導を行って以降、夜間の公園内での食べ散らかし・畑踏み荒らし等は発生していない。今後も注意し、様子を見ていく。</p>

事故対応報告 ※事故発生はありません。

(事業報告書様式8)

市民サービスの向上や公園の魅力向上・利用促進

<p>平成30年度事業計画書における運営目標とその振り返り</p> <p><b>■運営目標①：「ふれあいゾーンの創出」について</b></p> <p>当公園には、地域住民や利用者が集える場所がなかったため、当該年度より、特に利用率の低かった芝生広場を中心とした中段エリア一帯を「ふれあいゾーン」と命名し、レイズドベッドの製作・設置やイベントの開催等、老若男女が集い楽しめる場としていくための様々な仕掛けづくりに力を入れて取り組んだ。まず、当公園は傾斜地にあり、公園入口からは中段エリア一帯は見えないため、ふれあいゾーンまで足を運んでもらうための工夫として、入口からアプローチ園路の見どころ・楽しみ方を充実させた。取り組む際には、「農園付き公園として、野菜とふれあう</p>
--

楽しさ伝えること」と「障害のある方や身体の不自由な方でも安全に農を享受し楽しめること」を常に心掛け、お野菜ロードの創出や園内全体を活かした収穫体験等を行った。また、ふれあいゾーンにおいては、徒歩圏内の利用者の皆様に繰り返し来てもらえるよう、また同じ町に暮らす仲間として人と人の繋がりが世代を超えて生まれ広がっていくよう、一過性ではなく継続性のあるイベントの開催を心掛けた。具体的には、定期的なレイズドベッドでの活動や、子供向けのじゃがいも里親イベント等をしかけていくことで、リピーターづくりと世代間交流を図った。結果、多くの方に喜んでいただき、イベントをきっかけに分区園利用者でない散歩利用の方のリピーターや、ボランティアに手を挙げてくださる方もみられるようになった。広報面においては、対象者やイベント規模に応じ広報媒体を選択し、広く参加を呼び掛けるものについてはタウンニュースや区の広報を活用して情報発信を行うことで、新設公園としての知名度向上・魅力発信につなげることができた。さらに、当公園の課題である「日陰がないこと」は、人が滞在できない理由の一つであると思われたため、スタッフ来園日限定で、テントを張って椅子を置いた簡易休息場所「ふれあいスペース」を中段エリア芝生広場に設けることで、快適な公園利用の促進と利用率向上に努めた。

#### ■運営目標②：「地域住民とのさらなる連携」について

公園での活動や野菜とのふれあいを通して、障がいのある方や身体の不自由な方に地域の一員として「やりがい」と「達成感」を感じていただくことを目指し、様々な公園作業に共に取り組むことができた。当公園の近隣には、障がい者支援施設や特別養護老人ホーム等があり、障がい者支援施設の皆様には、開園当初から公園の清掃活動等にご協力くださっている。当該年度は新たな公園美化業務として、手作り野菜イラストによる飾りつけや夏野菜石鹸の製作・設置、収穫物の配布等、様々な公園の魅力づくりのお手伝いをしていただいた。また、特別養護老人ホームの皆様とは、レイズドベッドを活かし、作付けから日々の手入れ作業まで、一緒に行った。作業においては、手の動作に不自由があっても取り組みやすくする工夫や作業補助等細部のサポートを心掛けて行い、様々な野菜を収穫まですることができた。作業日以外においても、水やり等にもご協力くださっている。

#### ■運営目標③：「誰もが農と楽しくふれあえる機会の提供し農の普及に努める」について

初心者でも失敗なく楽しく野菜づくりに取り組んでもらうために、ひとりひとりに対して、細かく丁寧な対応を行った。また、分区園利用者だけでなく、子供や高齢者、障害のある方でも、誰しにも気軽に野菜や土とふれあってもらうために、「見て、収穫して、楽しむお野菜ロード」等、園内全体を活かして収穫体験ができる仕掛けづくりに積極的に取り組んだ。特に、できるだけ長い期間にわたって収穫体験を楽しんでもらうためには、作付時期や植付場所を工夫する必要があり、秋作に向けた野菜の切り替えの必要のない園路際のスペースを活かすことで、長期間の良果多収を達成できた。また、車椅子利用の方が多くいることから、収穫しやすい場所に収穫しやすい背丈の野菜を植える工夫を行うことで、不便なく収穫の喜びを提供でき、老人ホームの皆様からも、「公園に来る楽しみが増えた」との声をいただくことができた。

(事業計画書様式9)

収支報告書(指定管理料のみ)

科目	当初予算額(A)	補正額(B)	予算現額(C=A+B)	決算額(D)	差引(C-D)	説明
収入の部						

指定管理料	—	—	4,530,000	4,530,000	0	
利用料金収入	—	—	212,400	212,400	0	
自主事業収入	—	—	74,000	21,550	52,450	
雑入	—	—	—	0	—	
その他雑入	—	—	—	0	—	
収入合計	—	—	4,816,400	4,763,950	52,450	

科目	当初予算額(A)	補正額(B)	予算現額(C=A+B)	決算額(D)	差引(C-D)	説明
支出の部						
人件費	—	—	2,782,000	2,780,640	1,360	
給与・賃金	—	—	—	2,346,000	—	職員、栽培相談員
社会保険料	—	—	—	328,440	—	14%
通勤手当	—	—	—	90,000	—	
健康診断費	—	—	—	16,200	—	
勤労者福祉共済掛金	—	—	—	0	—	
退職給付引当金繰入額	—	—	—	0	—	
事務費	—	—	755,000	502,914	22,112※	
旅費	—	—	—	12,258	—	
消耗品費	—	—	—	124,209	—	清掃用資材、トイレトーパー等
会議賄い費	—	—	—	0	—	
印刷製本費	—	—	—	66,300	—	広告宣伝費
使用料及び賃借料	—	—	—	1,000	—	
—	—	—	—	0	—	
—	—	—	—	1,000	—	説明会会場使用料
備品購入費	—	—	—	157,417	—	制服・道具類、記録用カメラ、センサーライト等
図書購入費	—	—	—	0	—	
施設責任賠償保険	—	—	—	17,070	—	
職員等研修費	—	—	—	12,000	—	刈払機講習
振込手数料	—	—	—	1,692	—	
リース料	—	—	—	110,968	—	車両リース
手数料	—	—	—	0	—	
地域協力費	—	—	—	0	—	
自主事業費	—	—	250,000	269,293	▲19,293	イベント材料費、景品、花苗等
管理費総合計	—	—	—	3,552,847	—	
光熱水費合計	—	—	—	0	—	
光熱水費(電気)	—	—	—	0	—	

光熱水費(ガス)	—	—	—	0	—	
光熱水費(水道)	—	—	—	0	—	
光熱水費(下水道)	—	—	—	0	—	
清掃費	—	—	864,000	210,600	54,296※	
修繕費	—	—	165,000	167,100	▲2,100	
機械警備費	—	—	—	0	—	
施設保全費	—	—	—	599,104	—	
空調衛生設備保守	—	—	—	0	—	
消防設備保守	—	—	—	0	—	
電気設備保守	—	—	—	61,452	—	
害虫駆除清掃保守	—	—	—	0	—	
その他保全費・園地管理費	—	—	—	537,652	—	斜面草刈、夜間警備等
共益費(合築等の場合)	—	—	—	0	—	
公租公課	—	—	—	0	—	
公租公課(事業所税)	—	—	—	0	—	
公租公課(消費税)	—	—	—	0	—	
公租公課(印紙税)	—	—	—	0	—	
その他公租公課	—	—	—	0	—	
事務経費	—	—	—	229,974	—	
事務経費(本部分)	—	—	—	229,974	—	利用者案内郵送、HP保守管理等
事務経費(当該施設分)	—	—	—	0	—	
その他経費(当該公園分)	—	—	—	0	—	
支出合計	—	—	—	4,759,625	—	
差引	—	—	—	4,325	—	

※平成30年度計画書では、事務費+事務経費=「物件費」755,000円、清掃費+施設保全費=「委託費」864,000円として掲示していたため。

(参考) 指定管理料外の経費

設置管理許可収入合計	—	—	—	43,185		自動販売機
設置管理許可支出合計	—	—	—	23,592		
差引	—	—	—	19,593		

(事業報告書様式10)

※運営目標・実績報告は、(様式8)の通りとします。

(事業報告書様式11)

自主事業実施報告

### ■分区園利用者に向けた事業

・目的

栽培技術向上のサポート、初心者の方の収穫までの道のりをサポート、栽培意欲の向上、農の普及

・実施報告詳細

事業名	内容等	時期・回数・収支・結果考察
栽培相談日	週2日の巡視日の他に、相談員による耕作アドバイスを実施した。相談員は、全国の農家を相	・時期及び回数：3～12月(全10回)

(耕作講習会)	手に指導・相談をしてきたベテラン栽培相談員であり、土づくりから収穫まで指導を行った。また、3月の説明会時においては、「畑の使い方を考える」というテーマのもと、栽培相談員(市川)による講習会を行った。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人数：延べ41名</li> <li>・収支：無料</li> <li>・考察：野菜の切替え時期における土づくりや連作障害に関する質問が多かった。</li> </ul>
資材の現地受渡しサービス	車での来園不可による重たい肥料等の運搬の負担軽減や資材運搬を理由とする路上駐車対策を目的に、使用量の多い堆肥や石灰やを現地まで運搬して販売した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時期及び回数：通年実施</li> <li>・人数：延べ12人</li> <li>・収支：資材料金のみ</li> <li>・考察：高低差の激しい公園においては、堆肥を運ぶのも一苦勞であり、特に高齢の利用者に大変喜んでいただいた。</li> </ul>
種の販売サービス	農業関連企業の強みを活かし、弊社オリジナル種(コーティング加工されており蒔きやすく発芽率の高い種)の現地販売サービスを実施した。利用者が楽しく育てる野菜を選択できるように、難易度等がわかる種の見本帳を倉庫内で閲覧できるようにした。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時期及び回数：通年実施</li> <li>・人数：延べ12人</li> <li>・収支：資材料金のみ</li> <li>・考察：アマチュアレベルの方からご購入いただくことが多かった。</li> </ul>
耕作記録書の作成・配布	次年度の利用者に渡すために、分区園利用者に菜園で育てた作物を記録してもらった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時期及び回数：3月</li> <li>・人数：全員(41名)</li> <li>・考察：夏野菜の収穫が全体的に遅めであった。今後の栽培指導に活かしていく。</li> </ul>
土壌の酸度測定サービス	分区園利用者に対し、土壌の酸性度の測定を無料で受付けるサービスを実施した。ただ測定するだけでなく、測定結果をもとに、何を混ぜたらよいか・よく育つ野菜について、アドバイスも行なった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時期及び回数：通年実施(巡視日に随時受付)</li> <li>・人数：3組</li> <li>・収支：無料</li> <li>・考察：測定結果を踏まえた作付計画についても相談を受けることがあった。今後は野菜別酸度表を倉庫内に掲示していく。</li> </ul>
分区園の名札づくりの啓発	利用者説明会時に、分区園利用者へ各自の区画内に立てる名札看板を配布した。手づくり看板の掲示によって、一般利用者に区画管理者の顔が見えるようになることで、イタズラや盗難の抑止に繋がることを説明した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時期及び回数：通年実施(巡視日に随時受付)</li> <li>・人数：41組</li> <li>・収支：無料</li> <li>・考察：ほぼ全員が掲げてくださり、季節により更新してくださる方</li> </ul>

		もいた。オリジナル看板を立てることが、愛着づくりにもつながっているとと思われる。
熱中症予防の啓発	分区分利用者に対しての熱中症予防の啓発として、温湿度計及び「農作業時の熱中症対策 自己管理チェックシート」を倉庫内（上段・下段）に設置・掲示した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時期及び回数：3月</li> <li>・考察：倉庫の中は、熱がこもりやすく、実際の外気温より高く表示されていた。</li> </ul>

■利用者全体に向けた事業

・目的

農園付公園としての魅力発信、農や野菜に対する興味関心の芽生え、魅力向上、公園の楽しみ方を増やす、利用者層の拡大、公園のファン、リピーターづくり

・実施報告詳細

事業名	内容等	時期・回数・収支・結果考察
収穫体験、収穫物の配布	<p>公園全体を活用し、散歩で来園した利用者やイベント参加者に、様々な野菜や果樹を収穫体験してもらった。参加者数以上の収穫物が採れた際には、公園入口にて、利用者への配布を併せて行った。8月末には、秋野菜のお片づけ収穫祭を行なった。11月には、協働農園の落花生（約600個）を公園ボランティアと協働で収穫から仕分けまで行ない、仕分け後に配布会を行なった。</p> <p>※作付場所及び収穫物一覧</p> <p>【協働農園】イチゴ、ハウレンソウ、レタス、ソラマメ、プチトマト、パプリカ、ナス、キュウリ、落花生、ニンジン、ダイコン、ブロッコリー／【上段エリア藤棚下】ゴーヤ（緑のカーテン）／【園路沿い（オクラの花道、壁面）】オクラ、カボチャ／【中段エリア（芝生広場レイズドベッド）】イチゴ、ニンジン、ダイコン、チンゲンサイ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時期及び回数：通年実施</li> <li>・人数：延べ143名</li> <li>・収支：無料</li> <li>・考察：収穫できる野菜等の案内を園内入口に掲示することで、通りすがりの方も公園に足を運んでくださるようになった。特に、「おくらの花道」のおくらの生育が大変旺盛で、巡視日毎に利用者・地域住民に差し上げることができた。一年を通して旬の野菜を収穫できることが、公園にわざわざ足を運んでくださる方、公園のファンも増えてきている。</li> </ul>
緑のカーテン設置	上段エリアの芝生広場に、ゴーヤのカーテンを設置した。散歩利用の方にも興味をもってもらえるように、育て方等についての掲示物も合わせて設置した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時期及び回数：5月</li> <li>・考察：日頃の水やりにご協力くださる利用者も徐々に増え、たくさんのおくらを収穫することができた。</li> </ul>
花いっぱい活動	園内全体に、季節の花やチューリップや草花を植栽した。 ※内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時期及び回数：通年実施</li> <li>・考察：入り口から上段エリアまでのスロープ沿い園路において、草花</li> </ul>

	<p>【入口付近】花プランターの設置（4箇所）、看板下一年草の植付け・植替え（224鉢）、アイスチューリップ植付け、ハイビスカス配布、ボタン植付け／【スロープ沿い】アジサイ植付け、一年草の植付け・植替え（140鉢）、チューリップ植付け／【中段芝生広場】花プランターの設置（2箇所）、アイスチューリップ植付、チューリップ植付け／【ふれあい梅林下】チューリップ植付け</p> <p>※アイスチューリップ数量：160鉢（1鉢当たり3芽立ち＝480本） ※チューリップ数量：1300球（5色（赤、桃、オレンジ、黄、桃白のミックス））</p>	<p>の植栽や魅力創出に取り組んだ結果、中段芝生エリアや上段エリアにも足をはこんでくださる方が増え、公園全体の利用率が向上し、喜んでいただけた。</p>
<p>中段部 「ふれあいゾーン」の創出・魅力アップ</p>	<p>1) 長尺ブラックベリーの植付け：H2mのブラックベリー（15鉢）を植付け、パーゴラへ誘引した。</p> <p>2) コンパニオンプランツの推奨（展示花壇の創出）：ダイコンの種とマリーゴールドを植付けた。コンパニオンプランツについての理解が深まるよう、掲示物も合わせて設置した。</p> <p>3) ハートフル菜園（レイズドベッド）の制作・設置：車椅子の方や高齢の方でも足腰に負担をかけず土とふれあっていただくために、レイズドベッドを設置した。仕様は景観と耐久性に配慮して杉板の焼き磨き仕上げとした。公園利用者の理解を深めるために、掲示物も合わせて展示した。植付け・手入れ・収穫は、地域の老人ホームと行っている。</p>	<p>・時期及び回数：4月～</p> <p>・考察： イベント時に限らず、多くの方が中段エリアに訪れてくれるようになった。</p>
<p>見て楽しむお野菜ロード</p>	<p>1) おくらの花道：入口から中段エリアまでのアプローチ沿いに、オクラの種を植え付け、農園利用者以外の利用者にも、公園を楽しく散歩できる仕掛けづくりに取り組んだ。</p> <p>2) カボチャ苗植付：入口から中段エリアまでのアプローチ沿いの法面上部の際に、カボチャの苗を植付けました。上から下へ垂れ下がる花と実が観察できるまで生長した。</p>	<p>・時期及び回数：5月～</p> <p>・考察： オクラは、秋口まで収穫体験ができた。協働農園とは異なり、車椅子利用の方でも簡単に触れることができる場所であるため、レイズドベッドの手入れに来園した高齢者に大変喜ばれた。</p>
<p>障がい</p>	<p>初年度から、週3回、園内清掃のお手伝いを委</p>	<p>・時期及び回数：①7月 ②8月</p>

<p>者支援施設との協働・連携「公園美化業務」</p>	<p>託している。平成30年度は、新たな公園美化業務として、下記の公園の魅力づくりのお手伝いいただいた。</p> <p>① 野菜のイラストの製作、展示：近隣の障害者施設の皆様に、焼丸太に野菜のイラストを描いてもらい、公園入口に展示した。どんな障害を持っている方でも参加しやすいよう、ゼロから描き上げる描き方の他に、ステンシルのプレート（型）を使った描き方などを導入し、誰でも不自由なく楽しく製作できるよう工夫した。</p> <p>② トイレ用野菜石鹸製作及び設置：公園内トイレに置くための野菜石鹸を製作・設置してもらった。野菜は、協働農園で収穫した、熟れすぎた夏野菜（キュウリ、パプリカ、トマト）を活用して製作し、後日、公園清掃時に、完成した石鹸を男女トイレ内に設置してもらった。</p>	<p>・人数：①25名 ②8名</p> <p>・収支：①無料（イベントとして実施の為）②1000円/日支払</p> <p>・考察：①大変個性豊かな野菜のイラストができあがり、公園入口が大変明るく、賑やかになった。後日、施設のご家族の皆様も展示作品を見学にいられていた。②石鹸製作においては、野菜をすりおろす係、石鹸をすりおろす係など、役割分担をして、10個の石鹸を製作してもらった。言葉には発されないものの、皆様笑顔で、収穫の楽しさを実感しているようであった。</p>
<p>レイズドベッドを活用した野菜づくり（特別養護老人ホームとの協働）</p>	<p>特別養護老人ホームの皆様と協働で、レイズドベッドに野菜の植え付け・手入れ作業を定期的に行った。</p> <p>※作業内容 ニンジン・ダイコン・チンゲンサイの播種、間引き、追肥、収穫/イチゴ苗の植付け、古葉除去</p>	<p>・時期及び回数：7月～、9回</p> <p>・人数：延べ63名</p> <p>・収支：無料</p> <p>・考察：参加者の中には、元々は農家だったものの足が悪くなってからは外にでなくなってしまった方もおり、足腰は不自由でも慣れたご様子で植付けされており、作業できる場ができたことを大変喜んでおられた。暑い中での作業もあったため、こまめに水分補給をしていただきながら、和気藹々、楽しくお手伝いしていただいた。</p>
<p>利便性向上のためのサービス</p>	<p>① 自動販売機の設置：利用者から要望があり設置した。熱中症予防の啓発もあわせて行った。</p> <p>② 憩いのスペース創出：日陰が合ったら嬉しいという利用者からの声があり、スタッフ来園日限定で中段エリア（芝生広場）にテントを設置した。</p>	<p>・時期及び回数：①②8月～③2月23日～</p> <p>・考察：①②暑い日でも公園に来てもらうためのしかけとして、効果的であった。③収穫物に付着した土により、水道付近やベンチ周りが汚れていることがあったが、カゴを設置</p>

	③ 収穫時仕分け用 カゴ・バケツ設置：収穫後に野菜の運搬、水道場での洗浄に使ってもらうためのカゴを貸出した。	したことで土汚れが軽減された。
梅の木 剪定教室	梅の木の剪定技術についての初心者向け講習会を行った。芝生広場にて講義（座学）後に、ふれあい梅林へ移動して実物の枝をみながら実際に剪定してもらった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時期及び回数：12月1日</li> <li>・人数：6名</li> <li>・収支：200円</li> <li>・考察：園内の果樹を実施に使用することで、一本一本枝ぶりの違いを見極めながら進めることができた。</li> </ul>
かかし をつく ろう！ ～かかし コンテ スト	誰でも楽しく取り組みやすいように、かかしの骨組みづくりまでは指定管理者が事前に行い、参加者には、制作したいかかしにあわせて古着等着せたい衣装を持ってきてもらい、中段エリアの芝生広場にて製作・展示を行った。約1か月間展示をし、人気投票を地域住民に呼びかけ、知名度向上を図った。コンテスト終了後は、上位5組を掲示板・HP上で発表し、景品と賞状を授与した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時期及び回数：11月18日、コンテスト開催期間は11月21日～12月25日</li> <li>・人数：19名（11体）</li> <li>・収支：200円</li> <li>・考察：かかしコンテストの総投票数は111票であった。日頃の利用者数から判断してもこの数はかなり多く、タウンニュースでの広報の効果があつたと思われる。また、コンテスト開催期間中は、参加者の家族の姿もみられた。</li> </ul>
季節の 装飾	「門松の製作、設置」材料は、他指定管理公園で伐採した竹や松等を使用して制作した。公園入口両サイドに設置した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時期及び回数：（製作）12月24日～27日／（設置）12月28日～1月10日</li> <li>・考察：使用した竹は処分せず、竹柵や土留めとして利活用した。</li> </ul>
じゃが いもの お父さ んお母 さんにな ろう！	中段エリアの花壇を活用し、じゃがいもの植え付けイベントを行った。事前に参加者を募集し、植え付け・看板製作設置までを行った。参加者の方には、6月の収穫まで、手入れ等の作業も呼びかけながら一緒に取り組んでいく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時期及び回数：3月2日、13日</li> <li>・人数：8名</li> <li>・収支：200円</li> <li>・考察：参加者には育て方マニュアルを差し上げたところ、後日水やりに来てくれており、リピーターづくりとして効果的であった。</li> </ul>
発生材 の活用	お正月に設置していた門松使用材料を再利用し、植栽帯への踏み荒らし防止柵や土留めを新たに製作・設置しました。 ① 竹柵製作・設置：中段エリアのブルーベリーを囲うように、竹柵を製作・設置し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時期及び回数： <ul style="list-style-type: none"> <li>① 1月10日②③3月7日</li> </ul> </li> <li>・考察：土砂流出箇所について、降雨後、必ず雨が流れていたが、土が流れなくなった。天然素材である</li> </ul>

	<p>た。</p> <p>② 看板横土留め製作・設置：以前から土が流出しやすかった入り口看板横について、竹製土留めを製作・設置した。</p> <p>③ 花瓶としての利活用：トイレへの花の装飾のための花瓶を製作し、装飾した。</p>	<p>ので、今後も破損等ないか点検・更新を行いながら維持していく。</p>
--	---	---------------------------------------

(事業報告書様式 12)

利用者アンケート結果

### ■公園アンケート(平常時)集計結果

・実施期間及び対象人数：平成30年4月～平成31年3月、35名

・結果：

1 性別・年齢・住所【男 12・女 23】、【※】代、【市内 3・区内 32・県内 0・県外 0】※10代 7/20代 2/30代 5/40代 3/50代 6/60代 5/70代 3/80代 1

2 来園目的(複数回答可)【分区園の利用 8・散歩 14・運動 2・遊び 5・犬の散歩 6・野菜観察 4・植物観察 4・生き物観察 1・栽培相談 2・収穫体験 19・その他(チューリップをみに 1・レイズドベッドの手入れ 1・かかしコンテスト 4・トイレを借りに 1)】

3 来園頻度【初めて 9・ほぼ毎日 11・週に何度か 10・月に何度か 5・その他( )】

4 来園手段【徒歩 25・自転車 9・バス 電車 2・その他(車 1 )】

5 来園しようと思ったきっかけ、情報入手方法(複数回答可)

【通りがかり 15・公園スタッフから声をかけられた 10・口コミ 3・公園の掲示板をみて 7・倉庫内のホワイトボードをみて 1・ホームページをみて 8・地域の掲示板や広報をみて 7・その他(野菜の手入れ 3・収穫体験 1)】

6 今回訪れた場所(複数回答可)【梅林 3/上段 11/スロープ,中段付近 19/下段 5/公園全体 2】

7 きれいさ【満足 35 理由(トイレがとてもきれい/障がい者の皆さんが熱心におそうじしている/綺麗に整備されている印象を受け、気持ちのよい公園でした)・やや満足 0・普通 0・やや不満 0・不満 0・わからない 0】

8 使いやすさ【満足 31 理由(階段、スロープともに、歩きやすくてよかったです。/車椅子でも収穫体験ができる。)・やや満足 4 理由(ロッカーが狭い。/高齢者にはスロープがきつい。/野菜の切り替え時に残さを処分できる場所がほしい。/日陰がなく暑いから。)・普通 0・やや不満 0・不満 0・わからない 0】

9 安心感【満足 31 理由(きれいで静かで落ち着くところでした。/車椅子でも利用できる場所)・やや満足 2 理由(夕方が暗いので心配です。)・普通 1 理由(朝早い時間に、一度、不審者に会ったため)・やや不満 0・不満 0・わからない 1】

10 掲示物のわかりやすさ【満足 29 理由(収穫体験できることがわかりやすく、寄らせて頂きました。/毎月更新されている。/とれたて野菜をもらえる。)・やや満足 3・普通 1・やや不満 0・不満

0・わからない2】

11 植物の管理状態について【満足 32 理由（きれいに手入れされているように感じました。/オクラの生長が立派。）・やや満足 1・普通 1・やや不満 0・不満 0・わからない 1】

12 催し・イベントについて

【満足 30 理由（「収穫体験」チューリップ目的で来園したが、収穫体験ができてうれしかった。・子供が楽しめ、興味をもつきっかけになる。・次は何が収穫できるのかがたのしみ。・収穫の仕方も教えていただき、子供にも貴重な体験をさせて頂きました。/「栽培相談」アドバイスが丁寧。/「かかしコンテストの投票」芝生広場がにぎやかになっていた。・楽しかった、次は製作もしてみたい。・個性豊かなかかしがたくさんいておもしろかった。）・やや満足 0・普通 0・やや不満 0・不満 0・参加したことがない 5】

13 職員の対応について【満足 35 理由（いつも挨拶をしてくれる。感じがよい。/わかりやすく、丁寧です。/とても親切でわかりやすかったです。/とても親切で、丁寧に案内して頂きました。）・やや満足 0・普通 0・やや不満 0・不満 0・わからない 0】

★総合評価【満足 35 理由（散歩道としても気持ちのいい公園で、作物の生長なども楽しめて良い所でした。/楽しい公園が近所にあることを知れてよかった）・やや満足 0・普通 0・やや不満 0・不満 0・わからない 0】

14 また来たいですか？【また来たい 35 理由（次は収穫体験に来たいと思います。/毎週楽しみに寄り道させてもらっています。/楽しかったので。）・もう来ない 0・わからない 0】

15 ご要望・ご意見、やってほしい催しなど（収穫祭のようなものをやったらどうか。/日陰がほしい。/収穫した野菜を使った料理やイベント販売など。/子供向けのイベント。/オクラの花道、来年も楽しみにしています。/ロッカーが広いとありがたいです）

16 興味のある作業【野菜の手入れ 14・果樹剪定 7・除草 2・花植え 5・草花手入れ 4・果樹や野菜の収穫 14・イベント企画運営 2・公園内での野菜の調理 3・その他（水やり 1）】

#### ■分区園利用者アンケート集計結果

・実施期間及び対象人数：平成 31 年 3 月、30 名

・結果：

1 年齢層【20代 0・30代 4・40代 5・50代 3・60代 9・70代 9・80代 0】

利用方法【単独利用 7・夫婦利用 10・親子利用 4・グループ利用 2】

2 満足度【とても満足 12・満足 15・ふつう 2・やや不満 0・とても不満 0】

3 指定管理者 横浜植木㈱の働き【とても良かった 17・良かった 13・ふつう 0・悪かった 0・とても悪かった 0】

4 分区園の利用頻度【毎日 4・3日に一回 8・1週間に一回 11・2週間に一回 9・1か月に一回 0】

5 分区園の利用時間【春：早朝 5・午前中 21・午後 4・夕方 1/夏：早朝 14・午前中 12・午後 3・夕方 7/秋：早朝 5・午前中 13・午後 8・夕方 5/冬：早朝 1・午前中 11・午後 11・夕方 6】

※早朝（6時～9時）、午前中（9時～12時）、午後（12時～15時）、夕方（15時～18時）

6 ご利用目的【趣味 20・健康 8・生きがいがづくり 3・お子様の食育 7】

7 分区分園を通して新しく築いた関係はあったか【はい 17・いいえ 11】

8 日常管理の頻度【週一回程度 10・月に一回程度 7・2か月に一回程度 1・3か月に一回程度 2・していない 8】

9 倉庫の使い勝手について【良かった 27・悪かった 2】

10 9で悪かったと答えた方は、その理由【農具、資材のサイズとロッカーの容量がややアンマッチ（狭い）から。/支柱が入らない。】

11 ご意見、ご要望【楽しく利用させていただき感謝しています/ゴミがだせないのが不便です/初めてでしたがいつもスタッフの方々が教えてくれて楽しく耕すことができました。農家の苦しみもわかりました/夏期、若者の共有テーブル周辺のゴミの散乱には呆れましたが、制約条件がある中で御社のご対応には感謝いたします/とても良い経験をさせていただきました。野菜の配布やかかしコンテストなど楽しかったです。二年間有難うございました/利用料の急激な値上げが残念です 2 /隣接敷地の外周樹木の影響で作物の生育に差がある/公園併設のためマナーを守らない人がまれにいる。/ゴミのちらかしがなくなってほしかった 2 /利用料の値上げについて理由を公開してほしい 2】

#### ■公園アンケート(イベント時)集計結果

- ・対象イベント及び人数：落花生収穫祭、梅の木剪定教室、じゃがいもの里親イベント 延べ14名
- ・結果：

1 性別・年齢・来園手段【男 7・女 7】、【※】代、【徒歩 9・自転車 1・車 2・電車 2】

※10代 2/20代 0/30代 2/40代 0/50代 1/60代 6/70代 2/80代 1

2 公園イベントへの参加回数【初めて 11・2回目 1・3回目 2】

3 2で初めての方へ イベントの情報源【通りがかり 0・公園スタッフから声をかけられた 4・口コミ 2・公園の掲示板をみて 3・ホームページをみて 1・地域の掲示板や広報をみて 4】

4 2でイベントへの参加回数が複数回の方【①リピートの動機（複数回数可）【イベント内容に興味があった 2・公園に来ることが習慣になっている 1・その他（前回参加させて頂き楽しかったから 1・野菜づくりに興味をもったから 1）】【②新しく築いた関係の有無（同年代の友人ができた。）】

5 満足度【満足 13 理由（落：落花生やダイコンを初めて抜いて楽しかった/あまり体験したことがないので楽しかった/梅：初心者コースとして理解できた/枝ぶりがしっかり見られてよかった/梅の木をみながら剪定の枝がわかったのでよかった/じ：初めての事で楽しかった/一度だけでなく経過や収穫も楽しめるから）・やや満足 1 理由（梅の木剪定教室：もう少し剪定をしたかった）・普通 0・やや不満 0・不満 0】

6 感想・提案・意見【落：落花生がたくさんついてびっくりした/同年代の子供と楽しくできました/水やりをやってみたい/梅：少数の参加者だったので良かったです/少し時間が不足？/わか

りやすく教えてもらえ良かった／じ：とても楽しませていただきました。地域の方にも広めたいと思います/植え付けから収穫までの流れ、詳しく教えていただけて楽しかったです/今回のように手軽に参加できる体験があるとうれしいです】

7 今後公園でやってほしいイベントや企画【何でも参加させていただきます/収穫体験など/みかんの事も知りたい他の木の剪定も教えてほしい/水やりをやってみたいし、もっといろいろな手入れもしたい】

8 興味のある作業【野菜の手入れ 6・果樹剪定 2・除草 1・花植え 2・草花手入れ 1・果樹や野菜の収穫 5 公園内での野菜の調理 3】

#### ■アンケート結果を踏まえた考察（昨年度と比較して）

- ・昨年度に引き続き、すべての項目において満足度は非常に高く、スタッフに対しての評価も高い。
- ・若い世代や車椅子での来園が増えた。幅広い世代を対象にした運営の効果だと思われる。
- ・分区園エリア以外の場所での利用率が約4倍になり、来園目的を充実させることができた。
- ・地域の広報を活用することで、遠方からの来園も増えた（徒歩以外の利用者もみられた）。
- ・いかなるイベントでも野菜とのふれあいを織り交ぜていくことが、多くの野菜への興味・関心を深める事につながったのだと思う。
- ・手入れや収穫のその先、調理や食べることへ関心のある利用者が多くいた。公園では調理が困難なため、他施設と連携する等によって工夫して取り組んでいきたい。

（事業報告書様式 13）

#### 研修実施報告

実施日	研修名	内容及び効果
4/5, 25、10/25	個人情報保護研修、接遇・リスクマネジメント研修、法令・コンプライアンス研修	公園業務において重要なスキル・考え方を身に着けるための研修を実施した。
4/18	ホームページ・広告に関する研修	幅広い世代に情報発信していくための、効果的な見せ方、ブログ更新方法等を学んだ。
7/26, 11/16, 1/11	植栽管理技術研修	園地管理技術の向上を目的に、野菜の育て方や芝生管理方法、土づくり等の研修を行った。
12/3	心のバリアフリー推進員養成研修講座	障がい者にとって優しい公園づくりを促進していくために、サポート方法や運営における工夫等について学んだ。
11/6	公園施設点検研修	安全な施設利用を維持していくための点検方法について学んだ。
3/6、3/21	安全研修	園地管理における安全意識を高める目的で、事故事例を元に、公園でも起こりうる事故を想定し対策を出し合う研修を行った。